



社会福祉法人はぐるまの会

はぐるま工房の農業の紹介

- **地域作業所における10年間の農作業の取り組み**
- **福祉施設の農業における環境保全活動への取り組みと今後の展望**

平成23年9月25日

作成者

はぐるまの会

法人本部 渉外

福田 真

はぐるまの会は、養護学校を卒業した青年・成人期の知的に障がいをもつ仲間たち（利用者さん）が、力いっぱい働くための作業所と生まれ育った地域ですっと暮らしていくためのケアホームを運営している社会福祉法人です。今年で創立26年を迎えます。（1985年～）

- はぐるまの会には、4つの作業所（職場）と、ケアホーム（生活ホーム）が10か所あり、現在、43名の仲間たち（利用者さん）がいます。
- 縫製品（フキンやエプロン）づくりをしている作業所が2か所。
- 老人ホームの地域交流スペースで喫茶店を営業している作業所が1か所。
- そして農作業を日々の仕事としているのが、今回紹介させていただく、「はぐるま工房」です。

2つの縫製品作業所でのフキンやエプロン作りと喫茶店事業のようす

- はぐるま共同作業所
多摩区菅馬場



- はぐるま管工舎
多摩区中野島



- 喫茶事業「プラス・ド・フルール」

社会福祉法人

読売光と愛の事業団

よみうりランド 花ハウス内



はぐるま工房の生活



麻生区片平の「はぐるま工房」

はぐるまの作業所の中で唯一、農作業を仕事として取り組んでいます

※ 仲間たちで堆肥づくりから行う、農薬を使わない安全・安心な野菜作りに取り組んでいます。

朝の会のようす
電車通勤をしています
出勤後、全員で掃除を
済ませてから一日の
予定を確認します